

# —歴史文化・公園緑地・博物館機能を融和包含した都市の形成に向けて— “Der Wald- und Wiesengürtel und die Höhenstrasse der Stadt Wien” (ウィーン 森林草地帯計画) の分析と考察

半田 眞理子

## 【要旨】

本研究は、「ウィーン 森林草地帯計画」(1905 年策定) の原典を翻訳し、補足説明を加えて内容を解明するとともに、特徴等を分析・考察したものである。その結果、本計画は、地域の歴史文化をふまえ、「自然と人為の均衡」を基本的な哲学として、①地形と卓越風を活用した清浄な空気の市街地への流入、②心理的な高揚感の持続を目的に、緑地を活かしたランドスケープ形成やレクリエーションの場づくり、健康的な都市の構築等を図った先駆的な計画である旨が分かった。プロジェクト対象地の面積は 4,400ha にのぼる。本計画の主旨は今なおウィーンの都市計画に活かされており、日本における「緑の基本計画」の運用など公園緑地政策にも参考になると考察した。

## 【キーワード】

公園緑地、都市計画、歴史文化、持続、均衡、健康、ウィーン、森林草地帯、ハイストリート

# 英国におけるパークトラストに関する研究 (その 1)

森本 千尋 嶺岸 さゆり

## 【要旨】

近年、英国の公園緑地の新たな管理運営モデルとしてパークトラストが紹介されているが、その基本的要件としてコミュニティへのアセットトランスファー(資産委譲)という方法がとられている。そこで、同様のしくみで運営されているディベロップメントトラスト(Development Trust)の先行研究を整理するとともに、このようなコミュニティへの資産委譲が行われる背景と考えられる英国における公益信託(charitable trust)制度の概要、社会福祉等の公共政策の動向などを整理した。ディベロップメントトラストのようなアセットトランスファーの活用の広がり背景に、コミュニティ政策の強化、英国のチャリティ及び公益信託の長い歴史があり、今後公園緑地においてもコミュニティへの資産委譲による管理手法の採用の増加が予想される。

## 【キーワード】

英国、Park Trust、Development Trust、asset transfer

# 石舞台古墳入場者数調査から示唆される利用最適化の方向性

堀江 典子 青木 明代

## 【要旨】

貴重な歴史資源を保全し持続的に観光の質と歴史公園としての機能を確保していくためには、保全と利用のバランスを考慮した適正な管理により利用の最適化を目指していく必要がある。本稿では平成 24 年度のサクラ開花期、ゴールデンウィーク、彼岸花祭り期間など混雑日の石舞台古墳における入退場者数と村営駐車場の入退場車数の調査の結果について報告したうえで、利用最適化の方向性を、第一に特別史跡である古墳の保存、第二に利用者の理解促進、第三に施設利用、第四に観光促進と利用集中の観点から考察し、人が多く賑わいがあるけれども交通安全上混乱はしていない状態を目安として、歴史や文化財理解への裾野を広げていくための誘客と安全確保を両立させていく必要性を示した。

## 【キーワード】

歴史公園、利用最適化、入場者数、駐車場、利用実態調査、観光

# 都市公園の集客対策に関する考察

平松 玲治 嶺岸 さゆり

## 【要旨】

平成 24 年度に当研究所で全国自治体の公園担当者を対象に実施したアンケートの調査結果に基づき、都市公園における集客対策の現状とその傾向について考察した。アンケートを行った結果、概要や工夫した点などの取組み内容、実施体制、効果、今後の課題等について把握することができた。また、集客としての効果に着目し考察した結果、取組みによる利用状況や効果の傾向が改めて確認できた。

## 【キーワード】

都市公園、公園管理、集客、イベント

# 公園の拠点的機能に関する一考察 — 国営公園の管理運営方針にみる地域との関係 —

堀江 典子

## 【要旨】

行政サービス合理化が進み都市施設の再構築が図られつつあるなかで、都市施設としての公園の方向性を求めていくためには、公園機能の現状を把握し、他施設が担う機能との重複や相違を明確にしていく必要

がある。本稿においては、公園を拠点とした地域マネジメントの展開を念頭に、管理運営方針等の中で地域における機能がどのように記述されているかを調べた。広域あるいは国家的見地から設置されている国営公園が、レクリエーション、環境保全、景観形成、防災という従来からの公園機能の範疇にとどまらず地域におけるさまざまな拠点的機能を記述しており、地域における機能、あるいは地域貢献を強く意識していること、さらに地域における機能発揮のために幅広い連携・協働や情報発信を必要としている現状の一端を示した。

#### 【キーワード】

国営公園、管理運営方針、地域マネジメント、拠点機能

## 平成 24 年度 全国都市公園管理運営実態調査の概要 —指定管理者制度導入後の現状と課題を中心に—

嶺岸 さゆり 平松 玲治 森本 千尋

#### 【要旨】

自治体の公園担当者を対象として行った平成 24 年度全国都市公園管理運営実態調査(アンケート調査)の結果から、指定管理者による公園の管理運営の課題を中心に整理した。本調査の結果をもとに管理業務で生じた問題を分類したところ「管理の質の低下にかかる問題」が最も多く生じていた。履行状況を確認するモニタリングは、文書中心となっており、手法の確立や活用方法などが課題となっていた。指定管理者に対する業務の評価については、評価基準、方法、体制と評価結果の活用方法の確立が課題として挙げられた。また、自治体と指定管理者の意思の疎通を十分図るためには、日ごろから綿密な情報の共有を行い、共通認識をはぐくむ必要性が改めて確認された。

#### 【キーワード】

都市公園, 指定管理者制度, 管理実態, アンケート

## Centennial Parklands における戦略的公園管理運営について

青木 明代 小口 健藏

#### 【要旨】

Centennial Parklands は、オーストラリアのシドニーにある Centennial Park, Moore Park, Queens Park の 3 つの都市公園の総称で、広大な面積を有し、年間 2,000 万人の利用者がある。125 年以上の歴史を持ち、州遺産や、オーストラリアの自然遺産にも登録されるなど、オーストラリアを代表する都市公園でもある。Centennial Parklands の管理運営団体である Centennial Park and Moore Park Trust は、Centennial

Parklands を管理運営するにあたり、5 ヶ年の戦略的計画をたて、維持管理費の多くを自己資本により調達している。本稿では、公園の概要、管理運営団体の組織概要、戦略的な管理運営計画について紹介する。

**【キーワード】**

都市公園, Centennial Parklands, シドニー, 戦略的管理運営計画

## 都市公園をフィールドとした復興支援活動について

峰岸 徹 石光 茂行 内海 光太郎

**【要旨】**

東日本大震災後、より多くの人々が参加できる復興支援活動として“花と緑”をテーマにした復興支援活動に着目し、公園維持管理業務を受託している被災地唯一の国営公園である「国営みちのく杜の湖畔公園」を拠点とした復興支援活動として、スイセンの植栽及び普及活動に 2011 年より取り組んできた。本稿では、この支援活動による復興支援の考え方と三年間の取組みの経過及び活動実績を整理し、今後の課題を示した。

**【キーワード】**

復興支援活動、花、スイセン、ボランティア、国営みちのく杜の湖畔公園